

16 公衆電話所

目 標 と な る 指 針		図面及び各項目 の名称・番号等	設 計 内 容	判 定	留 意 事 項
				指 針	
公衆電話所の設置			(設置の有無) ・有 ・無		
障害者対応 公衆電話機 の設置	公衆電話所を設ける階と敷地内の通路には、聴覚障害者及び視覚障害者に対応した公衆電話機を1以上設置し、その旨を表示		(受話器の音量調節) ・可 ・不可 (点字表示の有無) ・有 ・無 (その他) (表示の有無) ・有 ・無		
車椅子使用者 対応公衆 電話台の設 置	公衆電話所を設ける階と敷地内の通路には、車椅子使用者に配慮した公衆電話台を1以上設置		(設置数) 台 階 台 階 台 階 台 敷地内の通路		
公衆電話台 の構造	カウンターの上端の高さ70 c m程度		(上端の高さ) c m		
	カウンターの下端の高さ60～65 c m程度		(下端の高さ) c m		
	下部に車椅子のフットレストが入る奥行き45 c m程度の空間を確保		(下部の空間) ・有 ・無		
公衆電話所に出入口を設ける場合には、車椅子使用者に配慮した構造とする。			(出入口) ・有 ・無		
出入口の構 造	内りの幅90 c m以上		(最小内りの幅) c m		
	戸は、自動開閉又は車椅子使用者が円滑に開閉して通過できる構造、かつ開閉時に戸が廊下等に突出しない。		(開閉方式) (駆動方式)		
	透明な戸は、衝突防止措置を講ずる。		(講じた措置)		
	車椅子使用者の通過に支障となる段を設けない。		(段の有無) ・有 ・無		
公衆ファク シミリ	公衆ファクシミリの設置と設置の旨の表示		(設置の有無) ・有 ・無 (表示の有無) ・有 ・無		